

やっさもっさ新聞は多くの協賛企業に支えられ発行しております

(有) WILL 土居写場
スナックあうる
(株) 赤石硝子建材
赤谷木材(株)
安芸木礼(有)
(有) 安芸緑化機材
公認会計士浅田勝彦事務所
(株) アップモア
アトリエYAZAKI
イオン三原店
池田電工
いっばい×いっばい
イノセント
スナックinf
IRIS
お好み焼&スナックいろは
イワタニ山陽(株)三原支店
岩西自動車
おばんざい印
(有) 上田製版印刷所
(株) ウツミ
うな中
宇野税理士事務所
(株) エヌワイティグループ
(有) エフエム・コーポレーション
(株) 大石製作所
大下建設(株)
大東印刷(株)
オートドリーム三原
奥田自動車
小野税理士事務所
(株) マネジメント・ブレインズ
ピアノラウンジ帯
(有) 笠下工務店
(有) 片山自動車工業
親切ギフトかつはら
勝原不動産(株)
(株) 勝村商店
勝村木材(株)
力ネダ漢方薬品(株)
(株) カネツナ
(株) ガルバ興業三原工場
寿司・割烹かわ蝶
(有) 河本商店
関西住建(株)
(株) 関西通商
(有) 完山商店
きやめ
(株) 協ライン工業
共立電機産業(株)

(有) 共和設計
共和不動産(株)
(株) 桐島電気サービス
(株) 倉橋匠栄堂
Grand Cafe
グローバルイノベーション(株)
警備保障イーグル88
仁康会 小泉病院
広愛産業(株)
晃栄不動産(有)
広陽フッソ産業(株)
(株) コグマヤ
極楽茶寺
小松木工(株)
Consulting Switch
(株) サービスセンター
(株) 阪井養魚場
(株) 坂元鉄工
(株) 笹井産業
(有) サニー住設
(株) サニクリーン広島三原営業所
Sun Eight Motors
三協立山アルミ(株)
三陽環境管理(株)
山陽建設(株)
山陽製粉(株)
(有) シー・イー・サプライ
CBテクノロジー(株)
しまなみ信用金庫
(株) 住創
順勝寺
(株) 正田文華堂
JIN-仁-
(株) スミダ
セブンイレブン 世羅町店
BAR Seven Luck
ダイヤモンドゴルフ練習場
(有) タクトコーポレーション
竹本自動車
田中運輸(株)
田辺製麺工場
(有) 多森薬局
(有) 中央地所
(有) 中国補聴器
お好み焼&食事処つぼみ
くし焼き 狄
(有) 寺迫組
(有) 東亜不動産
東進衛星予備校三原駅前校
トータルサポートTSC

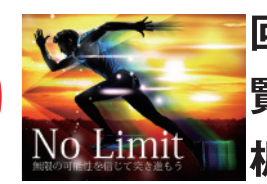
和食処登喜将
富野機工(株)三原営業所
鉄板KitchenTORICO
(株) 中野産業
(株) 中野モーターズ
中間醸造(株)
なぎさ医院 内科・皮膚科
溶岩焼和(なごみ)
(株) ナンパ洋服店
なんばレディースクリニック
(有) 西岡設備
(有) 西日本スペース
にった文具店
NEJIRO
(有) 野竹電工
(株) 八天堂
(株) 原アルミ建材
ハローランチ(株)本郷給食センター
(有) 半さん
光自動車ガラス専門店
ピストロSOBO
松山泰三税理士事務所
平田齒科医院
(有) 広興
広島電気工事(株)
(株) ファースト
ファミリーレストラン太陽樹高須店
農風舎
(株) 富久屋
(株) 藤井建設
藤井稔久税理士事務所
富士金属工業(株)
フジグラン三原
(株) BRIGHT
(株) プリッジ
(株) 古川製作所
(株) 古林電機
フルモト建機(株)
文化シャッター(株)
ヘアサロンにしはら
スタンドベント
ホンダカーズ三原皆実店
(有) 本田石材工業
(株) まじま製麺
益谷建設(株)
松尾社労士事務所
スナックマリア
丸源ラーメン
(株) 丸善商會

備後国総鎮護御調八幡宮
(株) みどり商会
(有) みどり書店
みどり幼稚園
三原カンツリークラブ
三原郷心会
三原共生コン(株)
(株) 三原国際ホテル
みはらし温泉
(株) 三原シティホテル
三原重量(有)
(株) 三原松操
清幸会 三原城町病院
(株) 三原スーパ
三原末広簡易郵便局
三原総和(有)
三原タイヤ(株)
M・CAT三原テレビ
(株) 三原美装社
三好印刷(株)
(有) 村上鉄工所
天ぶら割烹もみぢ
盛影塗装(株)
もりきん
(株) 森剛
(有) モリタ美研
保道建設(株)
(株) やっさ石油
(有) ヤッサ饅頭本舗
やまさ建設(株)
山田記念病院

三原の味です。名物です
上菓 献銘
やっさもっさ
ヤッサ饅頭本舗
(株) ヤマナ
山根法律会計事務所
山本衣料(株)
寝・生活館よしなが
由水酒販(株)
夜船司法書士事務所
スナックLOVE
(有) REVE AILE
Snack Little
リペアーズ
下町の居酒屋六文銭
ラウンジy's
(株) 若山組
(有) 渡辺商會
渡辺土地建物(有)



2017年12月
第459号



三原JCをもっと知ろう! やっさもっさ新聞、ホームページ、Facebook、三原テレビで情報発信中!!

やっさもっさ新聞 三原JC 検索 f「いいね」募集中!! M-CAT 三原テレビ放送 やっさもっさチャンネル

市内4校 まちの課題解決へ「議案」提出／「採決」まで疑似体験

2017 みはら高校生議会 開催

10/28
ゆめきやりあ
センター

一般社団法人 三原青年会議所は10月28日(土)三原市ゆめきやりあセンターにて「2017 みはら高校生議会」を開催しました。

三原市内の各高等学校がまちの問題点や課題点を探し、その解決策を生徒が「議員」として発表。質疑応答後、議案に対して、実際の議会のように質疑応答後、議案に対し、起立をもって採決する形式で会場は緊張感に包まれました。

第48回衆議院選挙の翌週というタイミングで、選挙権年齢の引き下げを背景に、改めて主権者



意識の向上を目的として、三原高等学校、三原東高等学校、総合技術高等学校、如水館高等学校の生徒26名に参加していただきました。

第1 議題1号 広島県立三原高等学校 「郷土愛あふれる三原にするために」について

「郷土愛あふれる三原にするために」というテーマで三原高校の生徒200人にアンケートをした結果若者は故郷三原市に愛着が浅いことがわかった。

原因の1点目は、若者の主体性が高まるイベントがないこと。2点目は市民が三原の魅力をあまりよく知らないことと考えられる。

1つ目の解決策は、市や商工会などの団体と市内高校生・大学生が

イベントを共同で企画・運営する実行委員会を設置し、三原との縁が続く仕組みを作る。2つ目は、イベントで三原の自然の豊かさを伝えると同時に経済活性化や情報発信強化にもつながる企画の立案。

以上のことから①高校生や大学生がイベントの企画・運営を行う実行委員会「三原応援隊」の結成②「三原応援隊」への資金援助や場所、情報提供を提案する。

次ページへ続く



やっさもっさ掲示板

やっさもっさ新聞では、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。詳しくはホームページまで!



絶賛放送中

毎月最終週の1週間三原テレビ放送で放送しております。三原青年会議所公式ホームページからもご覧になられます。

【お問い合わせ】
一般社団法人 三原青年会議所

TEL 0848-63-3515
FAX 0848-62-1141
info@mihara-jc.com

三原市皆実4丁目8-1
三原商工会議所2階
三原青年会議所

検索

広島東洋カープがリーグ一連覇を成し遂げた。広島県内全てのひとがカープファンではないであろうが、地元球団が優勝の経済効果は約400億円に上るとも言われている。かつては貧乏球団と言われていたカープが資金の豊富なチームにどう対抗していったのか。資金があれば実績のある有能な選手をいくらでも補強できる。同じ手段で対抗しても結果は火を見るより明らかだ。資金がなければ自力で若手選手を発掘し育成しなくてはならない。カープのスカウトはメディアで話題となる派手な「ドリフト」位を選んだのではなく、全国を飛び回り自分の目で確かめて素質のある選手を獲得する。そうした場合でも積極的に軍の試合で経験を積ませ、監督・経営陣が丸となって若手を育成するシステムが根付いているのである。◆私たちのまちではどうだろうか。資金の豊富な大都市のよくな活気が出てくるだろうか。資金がないなら、やり方を変えるしかない。右肩上がりの時代は疾うに終わっている。少子高齢化時代の今、若者の力をもっと信じて積極的にチャンスを与えてやるべきである。若者の発想力、行動力がまちを変えるのではないかと。◆カープのようにまちが丸となって若者が活躍できる環境が整えば、私たちの三原も多くのファンで溢れかえる魅力あるまちになることを願う。三原のファンで溢れた希望あるまちを期待したい。



第2 議題2号 広島県立三原東高等学校の議案 「三原市の中心市街地を活性化させるために」について

休日、三原の若者は市外に出かけ、中心市街地に来ない。原因の1つは中心市街地に市民の望む商業施設がないこと。市の資料では中心市街地の小売事業所数が平成9年321→平成24年196と38.9%減少。同じく小売業年間商品販売額も同30,686百万円→22,232百万円と27.6%減少している。



市民が望む施設に関して三原駅前アンケートした結果、どの世代も映画館を中心とした娯楽施設を希望している。中でも10~20代は娯楽施設のほか飲食店やファッションアパレルを含む商業施設を希望。休日を中心に若者が集まれば中心市街地が活性化し市全体に活気が戻る。

三原駅前東館跡地活用事業では①映画館等の娯楽施設を中心とした若者向け店舗の誘致②立体駐車場の設置③イオン三原店と地下道で結び、地下街を設ける、の3点を提案する。

三原駅前東館跡地活用事業では①映画館等の娯楽施設を中心とした若者向け店舗の誘致②立体駐車場の設置③イオン三原店と地下道で結び、地下街を設ける、の3点を提案する。



第3 議題3号 広島県立総合技術高等学校の議案 「人材の『地産地消』~陸海空の交通利点を活かして~」について

三原市の人口減少の原因の1つは企業の衰退。働き口減少により、働き口を求めて市外・県外へ出る人が増加している。平成24年の国勢調査では自動車等の県内企業の好調を受け広島県全体の人口が増加していることが分かった。陸・海・空の交通網の充実という三原市の利点を最大限に活用すれば企業誘致が可能と考える。



例えば空港近くにIC工場を建設できるよう整備する。自然が豊かで空輸も対応、開拓により工場立地も可能だと考える。また港に重化学工場や貿易関係の倉庫等を誘致すれば、船による材料・製品の大量輸送も可能となる。以上により人口流出を抑え市外からの移住者も増えて、三原市の発展につながる。そこで①働き口確保のための土地整備②三原駅と三原港の一体化、の2点を提案する。

そこで①働き口確保のための土地整備②三原駅と三原港の一体化、の2点を提案する。



第4 議題4号 学校法人山中学園 如水館高等学校の議案 「若者が住みやすい街へ~Uターンの後押し~」について

三原市の人口は過去5年間で約2000人減少(20歳以下は約800人減少・後期高齢者は約850人増加)し少子高齢化が進展。世代別では20~30歳が約550人減少、高校卒業後市外へ進学・移住し、三原市に戻る若者が少ない。



原因として①職場が少ない、②娯楽施設が少ない、の2点が考えられる。この2点が改善されると戻ってきたいという若者が

増える。その上で結婚・育児でも安心できる施策も必要。そうすれば若者が戻り、子どもが生まれ娯楽施設等が増え、また人が増えるという正のスパイラルを実現できる。

以上のことから娯楽施設・出産育児に着目し、①三原城跡・隆景広場の整備②緑ヶ丘の有効活用③「三原すくすく」の拠点の拡大④ベビーボックスの開発の4点を提案する。



『2017 みはら高校生議会』をふりかえって

未来を担う若者の主権者意識の向上を目的に「2017 みはら高校生議会」を開催いたしました。

当日は三原市内の高等学校から26名が参加。議会の模擬体験をしていただきました。緊張感あふれる議場では高校生が自分たちで考えた三原に対する提案を発表され、いずれも若者ならではの発想で、まさに三原の抱える問題がそこにあるのだと感じました。当日お越しいただいた三原市議会議員の皆様も真

剣に耳を傾けておられました。高校生からは「貴重な体験だった」「もっと三原に関心を持たなければいけない」「未来を担う我々が積極的に行動しないとイケない」、市議会議員の皆様からは「若者の率直な意見を聞いて大変有意義だった」「今後の活動に活かしたい」などの意見がありました。今後、若者はもっとまちのことを考え、大人は若者の声に耳を傾け、皆でまちづくり活動をする必要があると感じた事業となりました。

1年間、私達の活動へのご支援 ご協力 誠にありがとうございました。

一般社団法人 三原青年会議所より 心からお礼申し上げます。



第56代理事長 富田 伸博

青年会議所の理念である明るい豊かな社会とは、一体どんな社会なのだろう。と考えることがあります。現代の日本は先人の弛まぬ努力により一定水準の生活や教育が保障され、一見すれば水面を泳ぐ白鳥のように優雅に見えることもあります。しかし、物事を見る角度を変えると多くの課題が山積しており、本質的に「豊か」とは言い切れません。だからこそ、社会構造の中心に近い「責任世代」と言われる私たちが上辺の景色に惑わされることなく、まちの宝である子どもに今

より豊かな未来を残すために、語るだけでなく本質を見極めた行動を続ける必要があるのではないのでしょうか。節目の年を迎えた今こそ決意新たに未来への新しい一歩を踏み出す時であると考えます。

私たちは、これからも無限に広がる可能性を信じ、意志と情熱を持って活動してまいります。皆様からの本年のご厚情に感謝申し上げますとともに、今後も一般社団法人 三原青年会議所の活動に対しご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

愛と誇りの持てるまち創造委員会 委員長 山根 務

三原市民の皆様にもっと三原のまちを好きになってもらうことを目的に、7月に大和町で三原の食の魅力であるタコをテーマに「MIHARAオクトパークinたいわ」を実施し、10月に海辺の環境再生の専門家である木村尚さんを講師に迎えて生物多様性の保全とまちづくりをテーマとした講演会を開催しました。参加された皆様には三原の魅力を感じていただき、まちをもっと好きになっていただけたのではないかと思います。



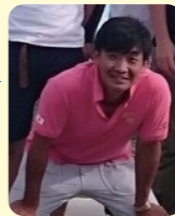
未来への懸け橋委員会 委員長 勝村 晋

今年は「やっさもっさ新聞」の発行に加え「子どもやっさもっさ新聞」を三原市内の小中学校に配布しています。また、子どもの郷土愛を育むため小早川隆景公を学ぶ「ワクワク歴史探検隊」を実施しました。そして、未来を担う若者の主権者意識の向上を目的とした「2017 みはら高校生議会」を開催しました。若者がもっと三原のことを考え好きになってもらえるよう今後も邁進してまいります。



トップランナー拡大委員会 委員長 内海 哲平

1年間、三原青年会議所の会員拡大を最重要課題として活動し、5名の新しい仲間を迎え入れることができました。また11月には事業者様を対象に、リーダーとなる人材育成のためのリーダーシップ向上セミナーを開催いたしました。自己成長したい方、まちづくりがしたい方、三原青年会議所に興味がある方、是非一緒に活動してまいりましょう。



大人の学び舎委員会 委員長 池田 恵

会員の「人間力」を高めそれぞれの地域でリーダーシップを発揮し、「かけがえのない存在」となることができるよう活動を行ってまいりました。主に対内研修に加え、8月開催のセミナーには市役所職員や県立広島大学生にも参加していただき、ともに有意義な学びの場とすることが出来ました。これからも我々が「かけがえのない存在」として地域の皆様から必要とされるよう活動を行ってまいります。



編集後記

「やっさもっさ新聞」を今年より新聞折込から町内会回覧板へと変更し、「子どもやっさもっさ新聞」も創刊しました。三原青年会議所は「明るい豊かなまちづくり」を理念に活動しておりますが、三原をより知ってもらい、関心を持つ

てもらい、行動していただくための広報を心がけております。至らぬ点も多々あったかと存じますが、今後も紙面の充実を図り、読者の皆様に寄り添えるような広報に力を入れてまいります。1年間のご愛読ありがとうございました。

地域経済のリーダー育成 浮城塾開校 三原市と県立大連携

三原市は8月25日、地域経済をけん引する人材の育成を目的に、県立広島大学と連携して経営塾「浮城塾」を開校しました。

塾での人材の育成を通して、地域産業の競争力の強化や、市が抱える人口減少などの課題解決をめざしています。

塾には市内の会社経営者や団体職員など27人が参加。参加者は来年3月までに全16回の講座で、経営戦略

やマーケティング、会計、組織・人材マネジメントについて、事例を基に学ぶほか、数名のグループに分かれ、グループごとに設定した地域の課題について議論し、解決方法を模索します。

参加者からは「経営の課題解決のヒントを得たい」「参加者同士の繋がりを築きたい」など期待の声が聞かれました。

